六中だより

米沢市立第六中学校
第　２　号
令和４年４月１１日

入学式が行われました

４月８日（金）には４１名の新入生を迎えて入学式が挙行されました。新入生は、緊張した面持ちの中、これからの中学校生活に対する期待感を膨らませていました。

式　辞

校庭の雪もすっかりとけ、春の訪れを感じる今日、本校父母と教師の会会長　鈴木勝志様にご臨席を賜り、令和四年度入学式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新入生の皆さんは今、期待と不安の入り混じった気持ちだと思います。中学校での勉強や部活動はどんなものか、この三年間をどのように過ごしていったらいいのかなど、様々な気持ちが混じり合っているのではないかと思います。そんな皆さんに期待したいことは、次の二つです。

一つ目は「決意」をするということです。皆さんは中学校の門をくぐり、新たな世界に入ったわけですが、だからこそ、今、これから自分はこうしたい、こうありたい、とはっきりと頭に描き、それを実行しようと強く思って欲しいと思います。それは大きいことでも、小さいことでもいいのです。何でもいいから、ひとつでもいいから何かを思い定め、行動してみること、そのことを期待します。

二つ目は、いろんな人と交わりながら、自分の世界を広げていって欲しいということです。ここには様々な小学校を卒業した人たちが集まっています。いろいろな人と接し、友達関係を広げていくいい機会です。お互い心を開いて話をしてみましょう。互いの良さを見つけながら、また互いに切磋琢磨し合いながら、自分の世界を広げていって欲しいと思います。

保護者の皆様方、本日はお子さんのご入学誠におめでとうございます。中学校の三年間は、心も体も急激に成長する時期です。本日入学されたお子様方が、三年の間に大きく成長していけるよう、われわれ教職員一同、全力を挙げて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

令和四年四月八日

米沢市立第六中学校校長　　伊田　吉春

新入生誓いの言葉

代表　色摩　龍星さん

　例年よりも雪が多く、新型コロナウイルスで生活が制限される中、僕たち４１名は心待ちにしていた入学式を迎えることができました。期待や不安がある中、先生方や上級生の皆さんに温かいまなざしで迎えていただき心より感謝しています。

　僕たちはこれからの三年間、勉強や部活動に力を入れて取り組んでいきます。僕が中学校で頑張りたいことは、数学です。理由は、算数から数学に呼び方も変わり、どんどん難しくなる印象があるからです。僕は小学生の時、算数が苦手だったので、中学校に入学してからは、数学を好きになれるように努力していきたいと思っています。

　もう一つ頑張りたいことは、部活動です。僕は、小学校の時野球をやっていました。中学校でも野球を続け、良い成績を収めたいと思います。そのために、上級生からしっかりいろいろなことを教わり、仲間と切磋琢磨して努力していきたいと思います。

　この２つの目標を達成するためには、米沢六中の生徒指針である六中 SDGｓにあるように視野を広く持ち、誰かのために進んで行動することが大切だと思います。そして、様々な困難があっても我慢強く「がってしない」生徒を目指します。そうした３年間をこの米沢六中で過ごすことで、自分の将来の夢である小学校の先生になることができると強く信じています。

　僕たち新入生一同、今日のこの気持ちを忘れずに、将来の夢や目標の実現に向けて、これからの３年間、努力を積み重ねていくことを誓います。

　最後になりますが、先生方、来賓の方々、上級生の皆さん、ご指導よろしくお願いいたします。